

体験的に環境への適応について学ぶアクティビティ

■ ジャングルゲーム

ねらい：動物は生存のために環境に適応していることがわかる。

1. 捕食者を決めて目隠しをする
2. 獲物役は、フィールドを生かして隠れる。
必ず体の一部が見えるようにする。
3. 捕食者は、獲物を探す。
捕食者は、オニは、定位置から動けない。
4. 20秒たってわからなかったら、10秒間のうちに移動する。
だんだん捕食者に近づかなくてはならない。
5. みんなが見つかったら、捕食者の交替
6. ふりかえり
 - ・どんな場所だと見つかりにくかったか。
 - ・どんな場所にいると、見つけにくいのか。



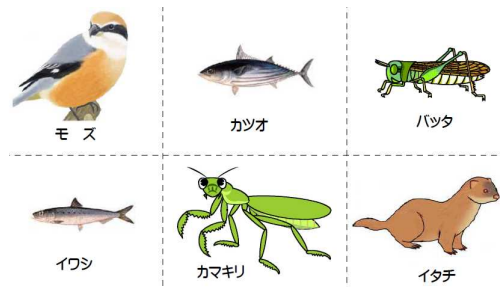
■ つながり発見！生息地

1. 子どもたちを「水・食べ物・すみか・空間」の役に振り分ける
※水・食べ物・すみか・空間…動物が生きるのに欠かせない環境
2. 全員が手をつないで輪になる
3. リーダーの指示により「水・食べ物・すみか・空間」の役を一人ずつ外していく。
4. 足の位置を動かさずに、輪が崩れないように手をつなぎ直す。
5. 輪が崩れたらアウト。環境（水・食べ物・すみか・空間）の大切さがわかる。



■私はだあれ？

1. 海・川・里・草原にどんな生き物がいるか、それぞれの場所は、食物連鎖でつながっていることを確かめる。
2. 教師が、生き物の名前を書いたカードを一人に一枚ずつ背中に貼る。子どもは、自分が何の生き物かはわからない。
3. 子ども同士お互いに質問をして、「はい」か「いいえ」で答える。
例：私は海に住んでいますか？
4. 同じ場所（海・川・里・草原）ごと集まり、連鎖の順に並ぶ。



■出会った相手、食べる？食べられる？

1. 教師が、生き物の名前を書いたカードを一人に一枚ずつ渡す。
2. 子どもは教室を歩き、誰かと「せーので」でカードを見せ合う。
3. お互いが連鎖の関係だったら、食べる／食べられる。
4. 二人とも教師にカードを返して、新しいカードをもらう。
5. 2～4を繰り返す。

■死のつながり

1. バッタ・カエル・タカとし9:3:1の比でチームわけをする。
バッタ役は胃袋として袋を持つ。カエル、タカは色ビブスを着る。
 2. 穀物に見立てた割箸をばらまく。半数に赤く色をつける。
 3. 1日目は、バッタが穀物を胃袋に詰める。
 4. 2日目（20秒後）、カエルが登場しバッタを捕まえる。バッタはカエルに捕まらないように、逃げながら穀物を手にいれる。
 5. 3日目（さらに20秒後）タカがやってきてカエルを狙う。カエルはタカをよけながらバッタをつかまえる（タッチする）。
 6. 20秒後、生き残った生き物の数を数える。タカの持っている割り箸の赤い印を数える。赤色の割り箸は農薬を示しており、多量の農薬を食べたタカも死ぬ。
- ※1回目は、農薬のことを意識させないで活動をする。
- ※2回目は、農薬について説明し、連鎖の上位ほど農薬は凝縮されることを教える。



■瞬間冷凍動物（フリーズ!）

1. 2人がキツネ、他はノウサギ。ノウサギはタオルを持つ。
2. キツネはノウサギを捕まえようとするので、ウサギは逃げる
3. ノウサギは向こう側にある餌を棲みかまで運ばなくていけない。
生き延びるためには、3つの餌を運ぶ（3往復する）
4. キツネが襲ってきたとき、ウサギは凍りつくか、隠れ家（リング）に

入ることで生きて延びる。自然界の疑似体験をする。

5. キツネに食べられたら、ハンカチをキツネ役に渡して外に出る。
6. キツネは、時間内に2匹の野ウサギを食べないと飢え死にする。
7. 2分経ったところで、生き延びることができたかどうかを聞く
ノウサギ：餌3つ、キツネ：タオル2つ
8. キツネの数を増やして、同様に行う。
9. キツネの数によって、生き延びるのに変化があったか尋ねる。

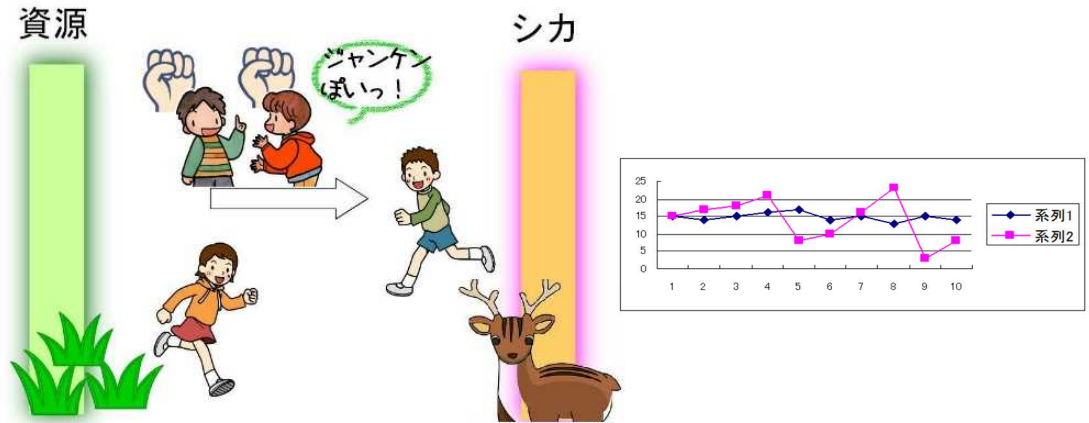
※捕食者と獲物が互いに影響されながら生きていることを学ぶ
捕食者と獲物の関係や、その関係における「適応」を理解する。



■天敵がない世の中は？

1. 児童を二つ（草役とシカ役）のグループに分けて、教室で向かい合わせに立つ。
2. 教師の合図で、教室の向かい側へ進む。誰かと出会ったら、同時にグー、チョキ、パーいずれかのサインを出す。同じサインだったら、草役はシカに連れていかれる。
3. 連れていかれた草役は、シカになる。シカが増えると、資源に出会えないことがある。その際、シカは死に土に戻る（=草役になる）
4. これを10回（10世代）繰り返す。各回ともシカの人数を記録していく。
5. 次に、草役の中に、こっそり天敵のトラ役を入れて上記①～④の活動をおこなう。トラ役は教師が1～2名を選び、誰がトラなのか、本人以外はわからない。
6. シカと草が出会ったとき、シカ役が潜んでいたトラを選ぶとシカは食べられて草になる。
7. これを10回（10世代）繰り返す。各回ともシカの人数を記録する。

8. 天敵がいないときといるときの人数をグラフ化して発表する。
9. 天敵がいる場合、シカの数は安定して推移するが、天敵がいないと増減が激しい。→ 天敵がいる方が安定することがわかる。



■ ジャコウウシの作戦

1. ジャコウウシが群れになって、狼から子どもを守る方法を説明する。
2. ジャコウウシの親、子ども、狼役を決める。
3. 子ども役を中央に、親役が取り囲む。
4. 狼役が子どもを襲おうと（タッチしようと）近寄ってくる。
5. ジャコウウシの親は、狼を近づけまいとして、邪魔をする。
 - ・狼は、子どもをタッチしたら捕食したとする
 - ・親は、角の代わりに両手を突き出して、狼の侵入を防ぐ。
 - ・親は、その場にとどまるが、片足だけは前に出してよい。
6. 時間で、役を交替する。

